

小学校 低 学年＜2－（15）＞

学 年	2年	時 間	生活科 「ぼうさいカレンダーを作ろう」	時 期	11月～12月	時 数	2時間（90分） （第3・4時/全5時間）
本時目標	防災の視点で、自分たちの学習したことや学校行事、地域の活動を見つめ直して「たいけんカード」に表し、3つのキーワード「まもる」「つながる」「そなえる」に分けて用紙にまとめることができる。						
資料・準備	活動の写真（各学校で準備）、掲示用体験カード（教師）、たいけんカード（児童）、模造紙、マジック、○シール(赤・青・緑)、のり、まとめワークシート、キーワードカード						

展開（第3・4時）

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 防災についてのカレンダーを作ることを知る。 ◇防災について学習したこと、学校や地域の防災や安全の行事を絵に描きカレンダーを作りました。	○インタビュー等、自分たちの今までの活動や体験についてまとめようという意欲を持たせる。
展 開	2 防災紙芝居「もしも地震が起きたら？」を視聴し、今までの学習や学校・地域の行事を思い出し、防災に関わる言葉や活動を発表し、話しあう。 ◇紙芝居を見たり聞いたりして、カレンダーに必要な言葉や活動を見つけましたか。「たいけんカード」に書きましょう。 ◇「たいけんカード」に書いたことを、グループで一人ずつ発表してください。 3 グループで、体験カードをもとに話しあい、それぞれの体験を3つのキーワード別に分け、模造紙にまとめる。 ◇各「体験カード」に理由を話しあって、「まもる(赤)」「つながる(青)」「そなえる(緑)」の色シールを貼って、分けてみましょう。 ◇色毎に、模造紙にまとめてから貼りましょう。	○児童から出た内容について、カードや写真等を掲示し、視覚でも意識できるようにする。 ○「たいけんカード」（児童用）を配布し、各自に記入させた後、グループで1名ずつ発表させ、3の活動の例としてみんなで考えさせ、3の活動をグループで進める手がかりにさせる。 ○「体験カード」・・・児童から出るであろうと予想される様々な体験をカードに書き出して準備しておき、児童の発表にあわせて提示する。 ○3つのキーワード「まもる」「つながる」「そなえる」カードも、発表にあわせて提示する。 ○子どもたちの今までの学習が「まもる」「つながる」「そなえる」のどれにあたるか分ける活動をさせる。分けた理由も言えるようにグループで話し合うように助言する。 ○3つのキーワードには、赤、青、緑シールを貼り、視覚的に見やすくさせる。 ○色分けに困っている場合は、特に強い気持ちの方に分けていくことを知らせる。 ☆理由を考え「まもる」「つながる」「そなえる」のキーワードを決め、まとめることができる。【思考・表現】
ま と め	4 本時の振り返りをし、次時予告を聞き話しあう。 ◇今日の学習をワークシートにまとめましょう。 ◇次の時間は、カレンダーにする絵を描きます。各自がどの場面の絵を描くか、話し合って決めておきましょう。	○振り返りとして、今日の学習をワークシートにまとめさせ、感想を発表させる。 ○次時は、本時のまとめを参考にして、カレンダーの絵を描くことを知らせ、各自が各場面を話しあって決めさせておくと次時までには構想が練れる。

<単元目標>

防災の大切さについて知り、よりよい行動をすることができるようにする。

<指導計画>（全5時間）

- 第1時 地域自主防災の避難訓練について公民館長さんに話を聞く。
- 第2時 防災活動や学習についてインタビューしたことをまとめる。
- 第3・4時 2年生の今までの学習や学校・地域の行事などをカードにまとめる。（本時）
- 第5時 カレンダーの絵を描く。

関連教科・領域等	学校教育活動全般、地域行事、登下校時等
協力団体	鳥取大学
題材・指導案等	平成23年度鳥取型防災教育モデル校（鳥取市立明德小学校）の実践を参考に作成